

中学理科の評価の観点と評価の方法				
	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	知識・理解
定期テスト		<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験結果から課題を考察する問題</li> <li>○基本的な内容から実験方法や結果を予想する問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験方法を問う問題</li> <li>○実験結果を問う問題</li> <li>○実験器具・試薬の使い方に関する問題</li> <li>○グラフや表・図・スケッチなどを作成する問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業で扱った実験についての理解を問う問題</li> <li>○授業で扱ったまとめについての理解を問う問題</li> </ul>
授業での活動	<p><b>授業への参加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発言・発表</li> <li>○学習内容を積極的に聞き取ろうとする。(聞く態度、積極性、まわりへの声かけや相談)</li> <li>○ノートを授業時間内にていねいに書き取り、内容も工夫したものにしている。</li> <li>○観察・実験に積極的に参加する。(観察・実験が安全に、指示通りに、積極的に、協力して行えているか)</li> </ul>	<p><b>授業中の意欲的な取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○予想を深く考えながら、実験に取り組んでいる。</li> <li>○実験結果から課題に対して適切な考察をすることができる。</li> <li>○実験結果から事物・現象の規則性や法則性を見つけ出し、自分の言葉でまとめることができる。</li> <li>○発言・発表</li> </ul>	<p><b>授業中の意欲的な取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実験に班で協力して取り組む。</li> <li>○実験器具の取扱い・方法の説明をよく聞き、正しい操作を身につけながら実験をすることができる。</li> <li>○図やグラフなどを工夫して完成させ、わかりやすくまとめている。</li> <li>○パフォーマンステスト(実験器具の基本的な操作の習得を確かめる)</li> </ul>	<p><b>授業への参加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発言・発表</li> <li>○前回までの学習内容を授業に生かそうとする。</li> <li>○学習されたことが知識としてしっかりと身につけている。</li> <li>○小テストの得点</li> </ul> 
提出物	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験プリント やワークの提出・自己評価・感想等の記述</li> <li>○学習ノートの提出(プリントは必ずファイリング又は貼る)</li> <li>○自習プリントの提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験プリントの考察の記載内容</li> <li>○学習ノートの記載内容(工夫されたもの)(プリントは必ずファイリング又は貼る)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験プリントの結果等の記載内容</li> <li>○実験プリントの図やグラフの正確さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験プリントの記載内容</li> <li>○学習ノートの記載内容(工夫されたもの)(プリントは必ずファイリング又は貼る)</li> </ul>
観点別評価	A = 8割以上	A = 8割以上	A = 8割以上	A = 8割以上
	B = 3割~8割	B = 3割~8割	B = 3割~8割	B = 3割~8割
	C = 3割以下	C = 3割以下	C = 3割以下	C = 3割以下

※) 観点別評価の割合は、授業内容の難易度の差によって多少変化します。目安にしてください。

観点別評価合計	AAAA	AAAB AABB	ABBB BBBB BBBC	BBCC BCCC	CCCC
総合評定	5	4	3	2	1

※) AAABとは、4つの観点別項目のうち、3つにAの評価が付き、1つにBの評価がつくという意味です。

※) 学年によって重点を置く観点が異なります。重点を置いた観点では比重が高くなり、上の基準表の観点別評価合計と総合評価の関係が少し変わることもあります。

2年 年間計画		時数
1 学 期	単元1 化学変化と原子・分子  1章 物質のなり立ち 2章 物質どうしの化学変化 3章 酸素がかかわる化学変化 4章 化学変化と物質の質量 5章 化学変化とその利用  ※化学変化についての授業を通して、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について学習すると共に、これらの事象を原子・分子のモデルと関連づけて学び、物質のなり立ちや化学変化のしくみについて学習します。	 9 7 6 7 6  (35)
	(48) 単元2 動物の生活と生物の変遷  1章 生物と細胞 2章 動物のからだのつくりとはたらき 3章 動物の分類 4章 動物の変遷と進化  ※生物の体は細胞からできていることを観察を通して学ぶ。また、動物などについての授業を通して、動物の体のつくりとはたらきを理解し、これらに基づいて動物が分類できることなどを学習する。さらに、さまざまな動物の比較から分析・解釈を行い、生物の変遷について学習します。	 1 3 1 4 5 7  (40)
	2 学 期  (56) 単元3 電気の世界  1章 電流の性質 2章 電流の世界 3章 静電気と電流  ※電流回路についての授業を通して、電流と電圧との関係および電流のはたらきについて学習します。また、静電気の基本的な性質についても学習します。	 1 5 1 4 6  (35)
3 学 期  (36) 単元4 天気とその変化  1章 気象の観測 2章 前線とまわりの天気の変化 3章 大気の動きと日本の天気 4章 雲のでき方と水蒸気  ※身近なところでの気象観測を継続的にを行い、その中から天気の変化が大気中の水の状態変化と大気の動きによって引き起こされることを学習します。 。日本の天気の特徴を知り、気象現象がおこる仕組みと規則性を学習します。	 6 6 7 1 1  (30)	
<b>授業時数合計 140 時間</b>		

## 2 年 年 間 計 画

	教員 1	時数	教員 2	時数
1 学 期  (48)	単元 1 化学変化と原子・分子  1 章 物質のなり立ち 2 章 物質どうしの化学変化 3 章 酸素がかかわる化学変化 4 章 化学変化と物質の質量 5 章 化学変化とその利用  ※化学変化についての授業を通して、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について学習すると共に、これらの事象を原子・分子のモデルと関連づけて学び、物質のなり立ちや化学変化のしくみについて学習します。	1 1 8 7 8 6  (40)	単元 2 動物の生活と生物の変遷  1 章 生物と細胞 2 章 動物のからだのつくりとはたらき 3 章 動物の分類 4 章 動物の変遷と進化  ※生物の体は細胞からできていることを観察を通して学ぶ。また、動物などについての授業を通して、動物の体のつくりとはたらきを理解し、これらに基づいて動物が分類できることなどを学習する。さらに、さまざまな動物の比較から分析・解釈を行い、生物の変遷について学習します。	1 3 1 3 4 5  (35)
2 学 期  (56)	単元 4 天気とその変化  1 章 気象の観測 2 章 前線とまわりの天気の変化 3 章 大気の動きと日本の天気 4 章 雲のでき方と水蒸気  ※身近なところでの気象観測を継続的に行い、その中から天気の変化が大気中の水の状態変化と大気の動きによって引き起こされることを学習します。 日本の天気の特徴を知り、気象現象がおこる仕組みと規則性を学習します。	6 6 7 1 1  (30)	単元 3 電気の世界  1 章 電流の性質 2 章 電流の世界 3 章 静電気と電流  ※電流回路についての授業を通して電流と電圧との関係および電流のはたらきについて学習します。 また、静電気の基本的な性質についても学習します。	1 5 1 5 5  (35)
3 学 期  (36)				
時数		70		70

授業時数合計 1 4 0 時間